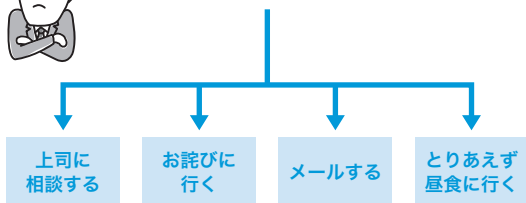


最短で判断するには？



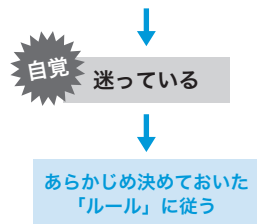
「クレーム対応、どうしよう？」



「何をすべきか」に対する答えが次々と浮かび混乱してしまう。そして、判断が下せない。



「クレーム対応、どうしよう？」



「何をすべきかを迷っている自分」を、まず自覚する。その上であらかじめ決めておいたことを実行する。

実行意図を身につけるには、まず「自分の迷い」に対して自覚になること。
 例えば「どうしよう」と思った瞬間、「あ、今自分は迷っている！」と自覚します。「迷っている自分」「判断できない自分」に気づかない限り「どうしよう」はいっつも続くことを、まずは認識すること。それが第一の解決策になります。

その上で必要なのは、自分でルールを決めておくこと。

例えば「ランチタイムに何を食するのか迷ったら、定食屋に行く」「メニューで迷ったら、日替わりランチにする」などは、「ルールを持つ」ということの好例でしょう。仕事でトラブルが起きたら上司に相談する、クレーム対応ではメールでもなく会いに行くのでもなく、電話することに決めておくなど、自分のルールを持つことによる迷いがなくなり、判断が早くなります。その結果、スムーズに実行に移せるようになるのです。これが効率アップに大きく貢献するということを、自覚しましょう。迷いが生じた瞬間に「今、迷っている」と自覚し、あらかじめ決めておいたルールに従って問題を解決していくことで、「**迷わない自分**」になろうとする。それによって判断力がつき、すぐに行動に移せるようになります。